

一般社団法人宮崎県理学療法士会 平成 30 年度（第 6 回）定時総会議事録

1. 総会の種類 第 6 回通常総会
2. 召集年月日 平成 30 年 5 月吉日
3. 開催場所 宮崎リハビリテーション学院
4. 開催日時 平成 30 年 6 月 10 日（日） 午前 11 時 00 分
5. 総会員数 1156 名
6. 出席会員数 788 名 （内訳）本人出席 86 名
委任状出席 702 名

7. 議長選任の経過

定刻に至り、高月事務局長が開会を宣言し、本日の定時総会は定款第 21 条第 1 項に定めた定数を満たしたので有効に成立した旨を告げる。続いて議長の選任をはかったところ、満場一致をもって議長に今村貴志氏（介護老人保健施設ひむか苑）を定款の定めに従い選出し、副議長に吹井聖太郎氏（宮崎善仁会病院）を議長補佐として選出した。

8. 議事録署名人選出の経過

議事録署名人の選出をはかったところ、満場一致をもって中田洋輔氏（鶴田病院）、今村貴志氏（介護老人保健施設ひむか苑）、吹井聖太郎氏（宮崎善仁会病院）の 3 名を定款第 24 条第 2 項の定めに従い選出した。

9. 議案の審議

議長より議案の審議にはいることが告げられ下記議案について審議された。

第 1 号議案：平成 29 年度事業報告に関する件

高月事務局長、各担当局長より平成 29 年度事業報告について説明が行われた。

第 2 号議案：平成 29 年度決算に関する件

高月事務局長より、平成 29 年度決算報告（収入、支出、継続事業、法人会計、資産）について説明が行われた。引き続き門川監事より、年間業務・領収・書類関係など適正に決算処理がなされている旨の説明があり、監査報告がなされた。

議長は、第 1 号議案、第 2 号議案について総括質疑はなく、一括採決が行われ、拍手により満場一致をもって承認された。

【報告事項】

1) 平成 30 年度事業計画および予算案について

高月事務局長より平成 30 年度事業計画について説明がなされた。

事務局について、他団体・行政との関わりが増えてきている状況にあり、さらなる事務局機能強化が必要と思われる。前年度よりホームページを開設しており、事務局から直接研修会情報などタイムリーな情報発信ができるようになった。今後もホームページの幅広い活用ができるよう取り組んでいく。

職能局では、4月に診療報酬・介護報酬の改定に伴い、研修会を実施済みである。継続して情報の収集や整理を行い、会員への情報提供を行っていく。管理者ネットワーク研修会について、協会指定管理者研修会（職域別）を急性期・回復期・地域包括ケア病棟・生活期に分けて研修会を開催していく予定。昨年度設置したライフサポート部が就職活動の相談窓口事業を開設予定。それに伴い、アンケートの実施やホームページへの就職状況の掲載を行っていく。

学術局では、平成31年2月9日～10日に第24回宮崎県理学療法学会をニューウェルシティー宮崎にて開催予定。

社会局では、今年度よりダイハツ工業株式会社との共同事業を開始している。地域密着プロジェクトとして健康安全運転講座を実施。今年度4月に宮崎ダイハツ南店にて1回目を開催済み。2回目は11月に予定している。介護予防健康増進キャンペーンを7月15日にイオンモール宮崎にて開催予定。腰にやさしい介護技術普及事業として、介護機器体験会、地域包括ケアシステムの推進に伴う人材育成を目的とした地域包括ケア介護予防推進リーダー研修等を実施予定。

ブロック局では、地域ケア個別会議、介護予防事業への会員の派遣、県からの継続委託事業として腰痛予防の研修会を実施する予定。

その他、今年度は当士会設立45周年となるため、宮崎県理学療法士学会が開催にされる平成31年2月9日に45周年記念式典の開催を予定している。

高月事務局長より平成30年度予算案について主なところの説明がなされた。

平成30年度は、新入会員50名を合わせて1,200名の会員数となる見込みである。

収入については、入会金収入が25万円、会費収入は1,200万円となる。事業収入として、研修会参加費が268万2,500円、広告宣伝費が5万円、協会補助金収入（協会からの士会援助金）が162万円、収入合計は166万2,500円となり、前年度と比較して96万2,300円の増となる。

支出については、前年度（平成29年度）と比較して増額している部分を中心に説明する。継続事業について、福利厚生費では各ブロックで開催される交流会等の補助を増額したため29万円の増、賃借料では第24回宮崎県理学療法学会および45周年記念式典の会場費のため79万1,820円の増、交際費では45周年記念式典での参加者100名の食事代が加わるため55万4,000円の増となっている。法人会計について、人件費では事務員を年間通して完全2人体制としているため45万円の増、福利厚生費も人件費と同様の理由で20万円の増、消耗品では45周年記念式典の記念品を準備するため25万1,000円の増、会議費では45周年記念式典の準備員会会議費などが含まれるため11万8,500円の増となっている。貸倒損金については29万円を継続事業と法人会計それぞれに振り分けて今年度より記載している。支出合計として1,897万6,212円となり、前年度と比較して311万5,196円の増となっている。

2) 公益社団法人日本理学療法士協会代議員総会について

中田会長より報告がなされた。6月2日から3日にかけて東京のベルサール汐留にて開催された第47回日本理学療法士協会定時総会に参加したので報告する。

① 名誉会員

岩手県理学療法士会から佐藤幹城氏の推薦があり、名誉会員として承認された。

② 会員の除名

3名の会員の除名について承認。3件ともわいせつ関連の事案であり、行政処分後に厚生労働省の医療審議会を経て日本理学療法士協会が除名の判断を行った。

③ 決算書類の承認

平成29年度事業の報告と貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減額計算書の付属明細書、財産目録の承認を求める件について承認された。事業報告の総括として、下記について説明がなされた。

I. 職域の防衛・拡大

1. 平成30年度医療介護同時改定
2. 地域包括ケアシステム推進のための都道府県士会活動の支援体制強化
3. 「理学療法士による予防」に関する研究募集
4. 海外展開の強化
5. 広報体制の強化

II. 理学療法士の質の向上

1. カリキュラム検討会
2. 新生涯学習システム
3. 日本リハビリテーション医学会との認定機構の設立
4. 医療広告ガイドライン
5. 第53回学術大会及び学術研修大会の結果

④ 選挙管理委員の承認を求める件について承認された。

⑤ 常勤役員要件審査委員の承認を求める件について承認された。

⑥ 議事運営委員の承認を求める件（代議員5名、事務局職員1名）について承認された。

⑦ 理学療法士養成課程の4年制大学推進の件について決議された。

⑧ 会館建設に関する経過報告

予算20億円以内で、平成31年中に完成の予定。建設予定地は六本木（東京駅から約10分、羽田空港から約40分）。

⑨ 平成30年度事業計画

職域の防衛・拡大、理学療法士の質の向上について説明。

⑩ 平成31年7月に行われる参議院議員通常選挙において、日本理学療法士連盟前会長の田中まさし氏が出馬予定。今年10月に再度宮崎へ来県予定。

3) 生涯学習システムの改革について



竜田理事より説明がなされた。認定理学療法士のシステムについて平成33年4月から大幅な変更がなされる予定であったが、さらに内容変更の検討がなされているとのことであった。将来的に理学療法士として5段階のレベルを設ける予定で、認定理学療法士取得者は3~4に該当するとの話があった(平成30年度中に決定する予定)。研修会出席などで付与されるポイントは改定と同時に無効になる可能性があるとのこと。将来的に認定理学療法士に対してインセンティブを持たせることが目的であるため、改定の内容は厳しくなることが予想される。認定理学療法士を目指す会員は、早めに取得を目指してもらいたい。

以上をもって平成30年度(第6回)定時総会の議案全ての審議を終了した旨を議長が告げ、午後12時13分に散会した。

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人これに署名(記名押印)する。

平成30年6月10日

一般社団法人宮崎県理学療法士会
議事録署名人印

中田 洋輔 
今村 貴志 
吹井 聖太郎 